

声優学科

1年次生

学科名	声優学科
科目名	言葉の基礎 I
担当講師名	滝沢ロコ
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はぶろだくしょんバオブバ、東京芸術座に所属し、アニメ、外画、ナレーション、舞台公演等、声優俳優として、演出家としての実務経験を持ちます。

#### 授業内容

日本語の正しいアクセント、法則等を理解し、正しい標準型日本語を話せるようにします。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

声優、俳優、ナレーター、パーソナリティとして、基本的に必要な美しい日本語を使えるようになります。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①テキストの法則解説部分を説明。正しいアクセントと発音（国際音声記号）を学び、実演します。
- ②日本語発音の基本である母音を正確に発音し、正しいアクセントを覚えます。練習題「a」
- ③法則、アクセントを繰り返し確認しつつ母音の練習題を行います。練習題「i」 畳語集早口言葉を発音練習します。
- ④母音はすべての音の基本となるので、更に学びます。練習題「u」
- ⑤顔、首、舌、唇等の筋力をアップさせ、実際に言ってチェックします。練習題「e」
- ⑥長音、母音の無性化等、随時対応できるよう実際に言ってチェックします。練習題「o」
- ⑦1クォーター練習題の総括筆記テスト。やった事が理解できているかを確認します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席点50%：平常点30%：試験20%  
 練習題の復習がきちんと出来ているか、顔や首、舌の筋肉をしっかりと使えるようになって  
 いるか、正しい発音、アクセントを目指せているかを評価します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧1Qの復習と確認。サブテキスト「こんきょう寺」。間違えた所を確認し勉強の仕方を点検します。
- ⑨母音、単子音練習題その1。アクセントを学びつつ、母音の復習と法則の確認をします。
- ⑩母音、単子音練習題その2。正しい発音は、口唇、舌の筋力が無いとできないので、筋力アップを図ります。
- ⑪母音、単子音練習題その3。特別な子音の発音を練習。「こんきょう寺」で旧型アクセントを学びます。
- ⑫単子音練習題その4「ka行」。息と共に発音する音を学び、言葉に慣れ練習題を正しく読めるようにします。
- ⑬単子音練習題その5「ga行」。息を強く出しながら発音し、次第に息を少なくしていきます。
- ⑭単子音練習題その6鼻濁音。苦手な人が多く難しい発音なので、法則と共に繰り返し確認します。
- ⑮2クォーター練習題の総括筆記テスト。今までやった事が理解できたかを確認します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席点50%：平常点30%：試験20%

日常的に反復練習が出来ているかを確認し、さらに、正しいアクセントと美しい日本語の発音を繰り返し学び、自分のものにできているかを評価します。  
各課題や進み具合は、状況により適宜変更することがあります。

#### 特記事項

授業では、アクセント辞典を使用するので、事前に各自用意しておいてください。

必要な際は、遠隔授業として行うことがあります。

学科名	声優学科
科目名	言葉の基礎Ⅱ
担当講師名	滝沢ロコ
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はぶろだくしょんバオブバ、東京芸術座に所属し、アニメ、外画、ナレーション、舞台公演等、声優俳優として、演出家としての実務経験を持ちます。

#### 授業内容

春学期に続き、徹底した基礎技術を身につけます。  
練習課題(サブテキスト)を豊富に提供して、日本語の文化も学びながら美しい日本語を使いこなせるようにします。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

アクセント、母音の無声化、文節の切り方等言葉の法則を確実に覚え、実際に使いこなせる様にします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 単子音練習その1「sa行」。前期の復習と確認。舌を使う音を正しく発音します。
- ② 単子音練習その2「ta行」。更に滑舌を良くする為に、アクセント、調音を確認して行っているかを学びます。
- ③ 単子音練習その3「da行」。舌を強く使って発音。法則を理解し、実際に言えるかを学びます。
- ④ 単子音練習その4「na行」。呼吸と合わせてしっかり発音。舌の筋力がついていないと発音できないので、確認して練習します。
- ⑤ 単子音練習その5「ha行」。更に口中で作る音の練習と正しい発音を学びます。
- ⑥ ヒヤリングテスト。強化箇所の再履修と、ヒヤリングで法則が聞き取れるかをチェックします。
- ⑦ 3クォーターの総括筆記テスト。今までやった事が理解できているかを確認します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席点50%：平常点30%：試験20%  
繰り返し練習が出来ているかを確認し、正しいアクセントと美しい日本語の発音が身につ

いているかを評価します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 3Qの復習と確認。単子音練習その1「pa行」。単子音練習題を進め、合わせてサブテキストを練習。唇を使う音を学びます。
- ⑨ 美しい日本語を話す為に。単子音練習その2「ba行」。引き続き単子音練習題を行い、早口言葉、畳語集と合わせて、音を正しく作れるようにします。
- ⑩ 母音、単子音練習題その2。正しい発音は、口唇、舌の筋力が無いとできないので、筋力アップを図ります。
- ⑪ 単子音練習その4「ja行」。半母音を学びます。唇の筋力がついているかを確認し、はっきり発音します。
- ⑫ 単子音練習その5「ra行」「wa」。舌を使う音、唇を使う音を学びます。息を通す場所を確認しながら姿勢や筋力も合わせて習得します。
- ⑬ その他の音の練習。舌も唇も練習を続けないと筋力維持できないので、はっきり発音できるように繰り返し練習します。
- ⑭ ヒヤリングテスト。ヒヤリングで法則が聞き取れるかをチェックします。
- ⑮ 4クオーターの総括筆記テスト。総合チェック

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席点50%：平常点30%：試験20%

- ・母音の口形を確実に
- ・呼吸、発声と調音の確認

各課題や進み具合は、状況により適宜変更することがあります。

#### 特記事項

授業では、アクセント辞典を使用するので、事前に各自用意しておいてください。

必要な際は、遠隔授業として行うことがあります。

学科名	声優学科
科目名	朗読 I
担当講師名	成田湊
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

「野菊の墓」伊藤左千夫／「りゅうの目のなみだ」浜田広介／「山椒大夫」森鷗外／「少年探偵団」江戸川乱歩／「ひやめし物語」山本周五郎／以上、演劇倶楽部「座」詠み芝居。「動員挿話」岸田国土／Mandala Presents 岸田国土を読む。「手紙一届かなかったラブレター」得丸伸二／TB スタジオ企画 等。

#### 授業内容

古今東西の優れた作家の文章を読むことで、現代を生きる自身の言語感性を磨きます。また朗読に必要な呼吸、発声、肉体づくりを行います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

朗読を通して作者の思いと意図を感じ取り、音読と朗読の違いを認識しながら適切に文章を読むことで、自らの心が動く喜びを感じられるようになる。また人前で声を発することの心地よさを感じられるようになると同時に、しっかりとした声を出し言葉を人に届けるために必要な肉体、姿勢、呼吸、発声を習得する。これらを通して、今を生きる現代人として、時代と社会を生き抜く力を身につけてもらいたいと思っています。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①自己紹介を通して自らの現状の言語状態を確認します。
- ②呼吸と声の関係を学びます。
- ③肉体と声の関係を学びます。
- ④（簡単なテキストを使いながら）発声します
- ⑤（簡単なテキストを使いながら）姿勢の確認をします。
- ⑥（簡単なテキストを使いながら）滑舌の癖を確認します。
- ⑦（簡単なテキストを使いながら）①～⑥を確認します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席点 50%、通常点 30%、試験 20%。本人の成長意欲が、こちらに感じられるところまで出ているかをみたいと思います。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧テキストを用いて朗読します。
- ⑨作者の文体、思考、言葉の使い方を学びます。
- ⑩登場人物を分析し、役を演ずることに挑戦します。
- ⑪役を深め、キャラクターを掴むことに挑戦します。
- ⑫相手役の言葉を心で聞くことを体感してもらいます。
- ⑬自分と相手の役を通して、物語を進めてゆきます。
- ⑭繰り返し読み込みます。
- ⑮試験で成果をみます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席点 50%、通常点 30%、試験 20%。課題に取り組む意欲、姿勢があるか。知らないことを知る喜びを感じているか。をみます。

#### 特記事項

必要な場合はオンラインレッスンでの対応を予定しております。  
授業の進捗具合によっては、内容の変更も検討して対応します。

学科名	声優学科
科目名	朗読Ⅱ
担当講師名	成田湊
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

「野菊の墓」伊藤左千夫／「りゅうの目のなみだ」浜田広介／「山椒大夫」森鷗外／「少年探偵団」江戸川乱歩／「ひやめし物語」山本周五郎／以上、演劇倶楽部「座」詠み芝居。「動員挿話」岸田国土／Mandala Presents 岸田国土を読む。「手紙一届かなかったラブレター」得丸伸二／TB スタジオ企画 等。

#### 授業内容

古今東西の優れた作家の文章を読むことで、現代を生きる自身の言語感性を磨きます。また朗読に必要な呼吸、発声、肉体づくりを行います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

朗読を通して作者の思いと意図を感じ取り、音読と朗読の違いを認識しながら適切に文章を読むことで、自らの心が動く喜びを感じられるようになる。また人前で声を発することの心地よさを感じられるようになると同時に、しっかりとした声を出し言葉を人に届けるために必要な肉体、姿勢、呼吸、発声を習得する。これらを通して、今を生きる現代人として、時代と社会を生き抜く力を身につけてもらいたいと思っています。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①テキストを用いて朗読します。
- ②作者の文体、思考、言葉の使い方を学びます。
- ③登場人物を分析し、役を演ずることに挑戦します。
- ④役を深め、キャラクターを掴むことに挑戦します。
- ⑤相手役の言葉を心で聞くことを体感してもらいます。
- ⑥自分と相手の役を通して、物語を進めてゆきます。
- ⑦試験で成果をみます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席点 50%、通常点 30%、試験 20%。春期からの積み重ねがあるか、さらなる本人の成長意欲があるかを大切にみたいと思います。



#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧作品全体を読み込んでもらいます。
- ⑨作品の全体像を把握した上で、自分で選んだ箇所を読み込んでもらいます。
- ⑩苦手な部分、癖などを意識しながら、その克服に挑戦してもらいます。
- ⑪呼吸、姿勢、発声、適切な声量、意識の方向を見つめ直してもらいます。
- ⑫聞き手にどのように聞こえるかを意識することに挑戦してもらいます。
- ⑬繰り返し読み込みます。
- ⑭繰り返し読み込みます。
- ⑮これまでの成果を試験で見せてもらいます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席点 50%、通常点 30%、試験 20%。1年間を通しての意欲、努力、成長を見ます。明るいか暗いかではなく、前向きな姿勢から人にプラスの影響を寄せられているかも見たいと思います。

#### 特記事項

必要な場合はオンラインレッスンでの対応を予定しております。  
授業の進捗具合によっては、内容の変更も検討して対応します。

学科名	声優学科
科目名	演技の基礎 I
担当講師名	一城みゆ希
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はふるだくしょんバオバブ、劇団テアトルエコー映画放送部に所属し、歌のお姉さん、TBS・R パーソナリティー、アニメや外画の吹替えの声優の実務経験があります。

#### 授業内容

1年間、一番大切な基礎レッスン（音楽に合わせてエクササイズでリズム感、腹式呼吸、北原白秋五十音で発声練習、早口言葉で滑舌）を中心に、外画、アニメ作品から台詞を抜粋し演技の勉強をします。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

生徒全員の苦手なところを見つけ、改善していきます。学生たちに自信がつくことで、更に次のステップアップに挑戦する力をつけます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 基礎レッスン・1年間の授業の説明等
- ② 基礎レッスン・実習アンサンブル  
本読み、キャスティング等、作品の説明、しっかり読める様にします。
- ③ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
作品をA・Bパートに分け、Aパートの収録をします。
- ④ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
Aパート5人1組で収録をし、自分の演技を聴いてアドバイスします。
- ⑤ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
Bパート5人1組で更に一歩進み収録をします。
- ⑥ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
A・Bパート収録し、自分の台詞を聴いてアドバイスします。
- ⑦ 基礎レッスン・1クォーター初見テスト  
外画から無線抜粋シーンを初見読みします。"

#### 中間試験評価方法・評価基準

2人1組の実技初見テスト 10%、受講態度 20%、出席率 20%、演技力 50%  
自己採点表の提出をしてもらいます。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 基礎レッスン・新しい作品の説明をします。
- ⑨ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
家族の関係性を考えましょう。
- ⑩ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
年齢設定、表現を豊かに。A・Bパートに分け、Aパート収録します。
- ⑪ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
Aパート収録、チェック、アドバイスします。
- ⑫ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
相手と会話ができますか？Bパート収録、チェック、アドバイスします。
- ⑬ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
相手の会話は聞こえていますか？A・Bパート収録、チェック、アドバイスします。
- ⑭ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
思いきって演じましょう。A・Bパート収録、チェック、アドバイスします。
- ⑮ 基礎レッスン・実習アンサンブル2クォーター初見テスト  
カタカナの多い無線、初見テストをします。

#### 期末試験評価方法・評価基準

2人1組の実技初見テスト 10%、受講態度 20%、出席率 20%、演技力 50%  
自己採点表の提出をもらいます。

#### 特記事項

学科名	声優学科
科目名	演技の基礎Ⅱ
担当講師名	一城みゆ希
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はふるだくしょんバオバブ、劇団テアトルエコー映画放送部に所属し、歌のお姉さん、TBS・R パーソナリティー、アニメや外画の吹替えの声優の実務経験があります。

#### 授業内容

春学期に身に付けた基礎をもとに、更に早口言葉Part 2 が加わります。滑舌の練習、表現力等、演技の基礎をしっかりと身に付けます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

秋学期は生徒全員レベルアップして居ります。基礎レッスンも授業の内容も難易度の高い作品に挑戦した結果、素晴らしい成果が達成します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 基礎レッスンPart 2が増えます。授業課題作品の上映会をします。
- ② 基礎レッスン・実習アンサンブル  
ファンタスティックな作品をやります。自由に表現してください
- ③ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
今まで以上に表現を豊かに。作品をA・Bパートに分けます。
- ④ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
アドバイスを思い出して。Aパート収録をしてチェック、アドバイスをします。
- ⑤ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
自分の枠から出て大きく表現を。Bパート収録し、チェック、アドバイスをします。
- ⑥ 基礎レッスン・実習アンサンブル  
夢の世界を作ってくださいA・Bパート収録し、アドバイスします。
- ⑦ 基礎レッスン1・2  
抜粋シーンの初見読みをテストします。

#### 中間試験評価方法・評価基準

2人1組の実技初見テスト10%、受講態度20%、出席率20%、演技力50%

自己採点表も提出します。

授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 基礎レッスン1・2 表現力の向上1  
新しい作品の説明をします。
- ⑨ 基礎レッスン・表現力の向上2  
紙芝居をやります。
- ⑩ 基礎レッスン・表現力の向上3  
～次の人に繋げる～をテーマに、1～5Rに分け、一人ずつ収録チェック
- ⑪ 基礎レッスン・表現力の向上4  
～自由に演じる～をテーマにVTRを入れて収録、チェックします。
- ⑫ 基礎レッスン・表現力の向上5  
収録チェック、アドバイスします。
- ⑬ 基礎レッスン・表現力の向上6  
収録、チェック、アドバイスします。
- ⑭ 基礎レッスン・表現力の向上7  
思いきって演じましょう。収録、チェック、アドバイスします。
- ⑮ 1年間の総まとめ  
基礎レッスン後、生徒全員の自由発言をします。

期末試験評価方法・評価基準

演技力50%、受講態度30%、出席率20%  
自己採点表も提出します。

特記事項

学科名	声優学科
科目名	上演 I
担当講師名	巻島康一
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

劇団俳優座 演技部に所属。「映像・舞台・アテレコ」の演者実務のほか、舞台音響監督やラジオ番組ディレクターの実務経験を持ちます。

#### 授業内容

- 1, 演技の基本を学びながら「演じる楽しさ」を発見する授業です。
- 2, 自身に適した演技技術を模索する授業でもあります。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

- 1, 観客から演者への意識改革。
- 2, 演者の身体作りとコントロール。
- 3, 言動と行動から真意を解析。
- 4, 秋学期の協業に備えて個人の表現力 UP。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 「上演」 授業とは？> 授業目的と一年間の流れを説明。授業全般の質疑応答。
- ② 身体コントロール1> 『演技は文系？理系？体育会系？』 高校時代の授業に置き換えて考えます。
- ③ 身体コントロール2> 『ウォームアップ』の必要性。
- ④ 身体コントロール3> 『発声・発音とは？』 日常生活での声出しと、表現の声出しとの違いを考えます。
- ⑤ 身体コントロール4> 『身体表現とは？』 コミュニケーションのイロハや、空間バランス感覚を探ります。
- ⑥ 心身コントロール1> 空間のバランス感覚や、動きの心情効果を探ります。
- ⑦ 心身コントロール2> 『心情と動作の模倣。』 クラスメートが演じた心情表現を模倣した後、意見交換。

#### 中間試験評価方法・評価基準

- 1, 出席した日数を評価。
- 2, 予習復習状況や積極性。
- 3, クラスメートへの観察眼。
- 4, 超課題の理解度。
- 5, 授業内課題発表を評価

出席：35% 平常点：35% 試験：30%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 役を考える1> 役の解析は作品テーマを理解した上で成立します。作品傾向やストーリー展開からテーマを掘り下げます。
- ⑨ 役を考える2> 人間関係や物言いから人物像を探ります。登場人物の感情曲線やバックストーリーを探ります。
- ⑩ 小品戯曲1（既存の作品）> 『本読み』少人数で短い作品を組み立てます。作品における役の意味と必要性を実体験する時間です。
- ⑪ 小品戯曲2（同上）> 『粗立ち』日常的な表現と演技表現の違いを考える時間です。
- ⑫ 小品戯曲3（同上）> 『立ち稽古』登場人物の役割を考える時間です。
- ⑬ 小品戯曲4 > （即興で小品を作ろう1）チーム即興劇から台本を起こす。修了公演予備知識1
- ⑭ 小品戯曲5>（即興で小品を作ろう2）台本の本読み&立ち稽古。修了公演予備知識2
- ⑮ 小品戯曲6>（即興で小品を仕上げよう3）発表。 修了公演予備知識3

#### 期末試験評価方法・評価基準

- 1, 出席した日数。 2, 予習復習状況。 3, 協調性と対応力。 4, 観察眼を評価。  
5, ⑮にチーム発表する小品の仕上がりを評価。  
出席：35% 平常点：35% 試験：30%

#### 特記事項

上記の授業計画は目安であり、進捗状況により変化します。  
必要な場合はオンラインレッスンでの対応を予定しています。

学科名	声優学科
科目名	上演 II
担当講師名	巻島康一
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

劇団俳優座 演技部に所属。「映像・舞台・アテレコ」の演者実務のほか、舞台音響監督やラジオ番組ディレクターの実務経験を持ちます。

#### 授業内容

秋学期は【掛け合い】を増やし「感性の相互作用」や「コミュニケーション力 UP」「ダメ出し対応力 UP」を図ります。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

1, 脚本読解力の向上。 2, 真意を探る洞察力の向上。 3, 身体コントロールの向上。  
4, 感情曲線の描写力と正確性の向上。 5, 協業での対応力向上。 6, 「間」の心理的効果を知る。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 修了公演の稽古準備 1 > 『小品から短編へ』シーンをまたぐ登場人物たちの役割と素行などを探ります。
- ② 修了公演の稽古準備 2 > 『本読み』シーンをまたぐ登場人物たちの役割と素行などを探ります。
- ③ 修了公演の稽古準備 3 > 『粗立ち 1』組み上げた演技プランを、台本を持ちながら演技検証します。
- ③ 修了公演の稽古準備 4 > 『粗立ち 2』前回の検証結果をふまえて再演技。役を洗練させます。
- ④ 修了公演の稽古 1 > 舞台制作の作業工程を説明。台本本読み。
- ⑥ 修了公演の稽古 2 > 配役発表。本役本読み。質疑応答。
- ⑦ 修了公演の稽古 3 > ウォームアップ後、本読み小返しと反復練習を行います。

#### 中間試験評価方法・評価基準

1, 出席した日数。 2, 安定した情緒と実行力。 3, 協調性と責任感。 4, 演出対応力。



出席：35% 平常点：30% 試験：35%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧修了公演の稽古4>ウォームアップ後、本読み小返しと反復練習を行います。
- ⑨修了公演の稽古5>各シーンを粗立ち小返し、大枠を詰めて行きます。反復練習により洗練度UP。
- ⑩修了公演の稽古6>立ち稽古。衣装プランのチェック。
- ⑪修了公演の稽古7>転換段取りを実践してみる。
- ⑫修了公演の稽古8>通し稽古。小返しで問題点を潰して行きます。
- ⑬修了公演の稽古9>問題点の抜き稽古。
- ⑭修了公演の稽古10>通し稽古。
- ⑮修了公演の稽古11>『発表会ゲネプロ』本番と同条件での通し稽古。（無観客）

#### 期末試験評価方法・評価基準

1, 出席した日数。 2, 安定した情緒と実行力。 3, 協調性と責任感。 4, 修了公演「役の洗練度」。

出席：35% 平常点：30% 試験：35%

#### 特記事項

上記の授業計画は目安であり、進捗状況により変化します。  
必要な場合はオンラインレッスンでの対応を予定しています。

学科名	声優学科
科目名	上演 I
担当講師名	大塚みずえ
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は声優、インプロバイザー（即興演劇のショー、ワークショップ）、講談語りの経験を持ちます。声優として 28 年、インプロショー経験 25 年、講師歴 10 年、講談語り歴 10 年です。

#### 授業内容

舞台に立つ心構えや、体作り、声の出し方、コミュニケーションの取り方（普段も舞台上でも）の取得、表現者としての感覚作りをします。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

表現者としての感覚（集中力+リラックスする感覚。子ども心と客観性を持つ感覚）をつくります。

表現者としての体作り（体感、腹式呼吸、滑舌）をします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 自己紹介 授業の今後の進め方や講師が大事にしている感覚の共有をします。
- ② 感覚作り（集中力+リラックス）をします。発声練習もします。
- ③ 感覚作り（子ども心+客観性）をします。発声練習もします。
- ④ 感覚作り（イエスアンドという感覚）をします。外郎売りもします。
- ⑤ 感覚作り（人に見せると言う感覚）をします。外郎売りで表現する力をつけます。
- ⑥ 外郎売りを発表します。
- ⑦ 2、3分の短いシーンを発表してもらいます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

6回、7回で発表してもらいます。

その中で、思い切り表現できるか、自分らしい表現ができるか、をみます。

出席 20%、平常点 20%、試験 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 7回目までの復習をします。集中力+リラックス。子ども心+客観性。イエスアンド。イメージ力などを復習します。
- ⑨ 短い小作品を演じます。発声、感覚稽古も引き続きします。
- ⑩ 短い小作品を演じます。発声、感覚稽古も引き続きします。
- ⑪ 10分くらいの作品、役をそれぞれ、自分なりの解釈で演じてもらいます。インプロも同時にやります。
- ⑫ 10分くらいの作品、自分のやりたい役にオーディションしてもらいます。インプロも同時にやります。
- ⑬ 10分くらいの作品。役を決めます。インプロの稽古もします。
- ⑭ 10分くらいの作品、台詞を覚えて立ち稽古します。インプロの稽古もします。
- ⑮ 10分くらいの作品。稽古場にて本番します。インプロも人前で演じてみます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

演じてもらう中で、役にどのように取り組んでいるかをみます。  
表現するときに、イメージできているか、やりたいことをしっかりやりきれているか、をみます。  
出席 20%、平常点 20%、試験 40%

#### 特記事項

必要な場合は、オンラインでのレッスンを予定しております。

学科名	声優学科
科目名	上演Ⅱ・上演舞台製作
担当講師名	大塚みずえ
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は声優、インプロバイザー（即興演劇のショー、ワークショップ）、講談語りの経験を持ちます。声優として28年、インプロショー経験25年、講師歴10年、講談語り歴10年です。

#### 授業内容

春学期で鍛えた感覚を使って、実際にお芝居を上演します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

舞台上で演じる感覚、体を作ります。その人らしい声、その人らしい演じる力がつきます。表現者として必要な感覚がつきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 台本読み
- ② 台本読み
- ③ 台本読み
- ④ 台本読み
- ⑤ 台本読み
- ⑥ 台本読み（配役発表）荒立ち
- ⑦ 台本読み 荒立ち

#### 中間試験評価方法・評価基準

思い切りの良さ、役の捉え方、とともに、演出の要求に応えられるか、というところもみます。

出席 20%、平常点 20%、試験 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 立ち稽古1、荒立ち、衣装パレード
- ⑨ 立ち稽古2 音響つき
- ⑩ 立ち稽古3
- ⑪ 立ち稽古4
- ⑫ 通し稽古
- ⑬ 通し稽古
- ⑭ 通し稽古 (ゲネプロ)

#### 期末試験評価方法・評価基準

本番に向けたモチベーション（安定感があるかどうか）、思いきりの良さ、このチームへの貢献度などもみます。

出席 20%、平常点 20%、試験 40%

#### 特記事項

必要な場合は、オンラインでのレッスンを予定しております。

学科名	声優学科
科目名	MC I
担当講師名	高森浩二
学期	春学期
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はイベントMC・式典等の司会。ラジオパーソナリティー。ナレーションなどの経験を持ちます。

#### 授業内容

MCとは、master of ceremonies. 司会者。番組進行系の事です。まずはその役割を理解し実際に台本を使用して実演してもらいます。様々のイベントや番組がある中で、それに応じたキャラクターのMCを実践します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

台本を読み込む、人前に立つ、マイクを持つ、声を出す。といった基本的なことを繰り返し実践します。そこで出た各々の課題をどれだけクリア出来るのかを個々の目標としてももらいます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①自己紹介&MCの役割
- ②イベントのMC①
- ③イベントのMC②
- ④イベント前の前説。盛り上げつつも注意事項などの確に伝えます。
- ⑤抽選会のMC
- ⑥トークショーMC①
- ⑦トークショーMC②

#### 中間試験評価方法・評価基準

授業に参加している事。台本をスムーズに読める事。人前に出た立ち振る舞いがしっかり出来ていることなどを評価します。出席50% 平常点50%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧スポーツイベントMC①
- ⑨スポーツイベントMC②
- ⑩観客とのコミュニケーション
- ⑪ファッションショーMC①
- ⑫ファッションショーMC②
- ⑬フードレポート
- ⑭TVショッピング。実演のMC
- ⑮緊急時対応のアナウンス

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席50% 平常点40% 期末試験10% 遅刻欠席がない事。スムーズな台本読み、進行が出来るか。授業に対する準備が出来ているか。などを評価のポイントとします。

#### 特記事項

必要な場合はオンラインレッスンでの対応を予定しております。

学科名	声優学科
科目名	MC II
担当講師名	高森浩二
学期	秋学期
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はイベントMC・式典等の司会。ラジオパーソナリティー。ナレーションなどの経験を持ちます。

#### 授業内容

進行台本に沿った司会進行とアドリブの要素の多いMCにチャレンジしていきます。オンラインのMCにも挑戦し、新しい時代に対応する力をつけていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

春学期で学んだ基本を元にレベルアップしていきます。台本を読む確実性とアドリブ対応を身につけていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ゲーム大会のMCを楽しみながら、間延びしないように実践します。
- ②スポーツイベントMCを実況の要素を取り入れて喋ります。
- ③披露宴の司会
- ④披露宴の司会②
- ⑤披露宴の司会③
- ⑥表彰式の司会
- ⑦オープニングセレモニーの司会

#### 中間試験評価方法・評価基準

平常点80% 出席率20%  
平常授業での個々のレベル。授業に対する取組。出席状況进行评估します。

#### 授業計画（8回目から15回目）



- ⑧クイズ大会のMC①
- ⑨クイズ大会のMC②
- ⑩ミス・ミスターコンテストの司会①
- ⑪ミス・ミスターコンテストの司会②
- ⑫オンラインに特化したMC①
- ⑬オンラインに特化したMC②
- ⑭オリジナルのイベントの企画・MC
- ⑮1年の振り返りと今後について

#### 期末試験評価方法・評価基準

平常点70% 出席率20% 期末試験10%  
スムーズな台本読み。現場対応が適切であるか。通常授業での取組と出席状況を見て評価します。

#### 特記事項

必要な場合はオンラインレッスンでの対応を予定しております。

学科名	声優学科
科目名	ボイスレコーディング I
担当講師名	巻島康一
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

劇団俳優座 演技部に所属。「映像・舞台・アテレコ」の演者実務のほか、舞台音響監督やラジオ番組ディレクターの実務経験を持ちます。

#### 授業内容

声の仕事に録音機材は不可欠です。授業では声演技に役立つ『必要最小限な技術的知識』と『マイク前の所作』を学びます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

1, マイク特性を知る。 2, マイクとの距離を安定させる。 3, ノイズ対策。 4, 収録時のマナー。 5, 録音編集ソフト『ProTools』の基本操作。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 授業目的と進め方の説明。録音編集のデモンストレーション。授業について質疑応答。
- ② 『マイク特性』同一人物の声を条件を変えて録音再生。
- ③ 『マイクが拾うノイズ』を知る。
- ④ 『ProTools の操作 1』録音機材（共有物）の使用ルール。
- ⑤ 『操作 2』マイクやヘッドホン、インターフェイスの設定、iMac の立ち上げなど PC 録音基本操作。
- ⑥ 『操作 3』マイクやヘッドホン、インターフェイスの設定、iMac の立ち上げなどの PC 録音基本操作。
- ⑦ 『操作 4』デジタル・オーディオ・ワークステーション用ソフト「ProTools」の概要とログイン方法。

#### 中間試験評価方法・評価基準

1, 出席した日数。 2, 予習復習の成果。 3, 操作理解度。 4, クラス貢献度。  
出席：25% 平常点：40% 試験：40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 『ProTools の操作 5』 1 クォーター全般の質疑応答。 新規書類の作成と各種トラックの作成方法。
- ⑨ 『ProTools の操作 6』 コンプレッサーの設定と録音レベル。自己紹介（60秒）を録音再生。
- ⑩ 『ProTools の操作 7』 コンプレッサーの設定と録音レベル。自己紹介（60秒）を録音再生。
- ⑪ 『ProTools の操作 8』 <音源の取り込み> 音楽CDやオーディオデータの取り込み。ナレーションとのミックス。
- ⑫ 『ProTools の操作 9』 <バウンス> 自己紹介ナレーションとBGMをミックスダウン。汎用フォーマットファイルとして書き出す。
- ⑬ 『CD焼き』 バウンスデータをCD&DVD作成ソフト『トースト』でCD化。
- ⑭ 『操作方法 再チェック』 これまでの授業内容をQ&A方式で振り返ります。その後、録音再生の作業工程を反復練習。
- ⑮ 『小テスト』 ボイスサンプル or 朗読データの提出。

#### 期末試験評価方法・評価基準

- 1, 出席した日数。 2, 予習復習の成果。 3, 操作理解度。 4, クラス貢献度。  
5, ⑮の提出データ仕上がり具合。  
出席：25% 平常点：40% 試験：40%

#### 特記事項

上記の授業計画は目安であり、進捗状況により変化します。  
必要な場合はオンラインレッスンでの対応を予定しています。

学科名	声優学科
科目名	ボイスレコーディング II・コンピューターオペレーション
担当講師名	巻島康一
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

劇団俳優座 演技部に所属。「映像・舞台・アテレコ」の演者実務のほか、舞台音響監督やラジオ番組ディレクターの実務経験を持ちます。

#### 授業内容

秋学期は作品制作に焦点を当て、雇用者側の視点から演者を考察します。ドラマ CD 制作チーム（4～5名）により、脚本、演出、音響オペレーターを担当、同級生からキャストを選び、音声ドラマを制作します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

1, 作品製作の全体像を知る。 2, キャストに求められるモノを知る。 3, 工程のプライオリティー。 4, スタッフが敬遠する事項を知る。 5, 『ProTools』編集操作。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 3～4人のチームで架空映画のプロットを創作し、脚本、演出、オペレーターを決めます。
- ② 『CMの脚本1』 チームでテーマを決めてアイデアを出し合い、脚本担当が台本に起こす。
- ③ 『CMの脚本2』 同級生からキャスティング、出演依頼をして収録へ。
- ④ 『CMの脚本3』 同級生からキャスティング、出演依頼をして収録へ。
- ⑤ 『BGM&効果音1』 著作権フリーBGM & 効果音を選び、取り込み編集を行います。
- ⑥ 『BGM&効果音2』 著作権フリーBGM & 効果音を選び、取り込み編集を行います。
- ⑦ 『仕上げと作品発表』 マスターボリューム調整後、汎用フォーマットに変換。各チームの作品を試聴&意見交換。

#### 中間試験評価方法・評価基準

1, 出席した日数。 2, 予習復習の頻度。 3, 責任ある立場に就く頻度。 4, 機材操作の安定度。

出席：30% 平常点：40% 試験：30%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 課題『番宣CM』を次回にまでに収録編集して提出。
- ⑨ 課題『番宣CM』を授業終わりまでに収録編集して提出。
- ⑩ 自分の『ボイスサンプル作り』を担当する音響オペレーターを指名し、ボイスサンプルの編集を仕上げてもらいます。
- ⑪ ラジオドラマ「白ヤギ宅配便」の収録編集を行います。登場人物は父、母、子供、配達員、謎の生物。
- ⑫ 録音手順の打ち合わせ。キャスティング。リハーサル後に本番収録。
- ⑬ 録音手順の打ち合わせ。キャスティング。リハーサル後に本番収録。
- ⑭ 著作権フリーBGM & 効果音を選び、取り込み編集を行います。
- ⑮ 『仕上げと作品発表』ボリューム調整後、汎用フォーマットに変換。各チームの作品を試聴&意見交換。

#### 期末試験評価方法・評価基準

1, 出席した日数。 2, 予習復習の頻度。 3, 責任ある立場に就く頻度。 4, 機材操作の安定度合い。

出席：25% 平常点：40% 試験：35%

#### 特記事項

上記の授業計画は目安であり、進捗状況により変化します。  
必要な場合はオンラインレッスンでの対応を予定しています。

学科名	声優学科
科目名	声の基礎演技 I
担当講師名	小山みか
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はプランダス（株）に所属し、アニメ、映画、ナレーション等声優としての実務経験を持ちます。

#### 授業内容

自分の言葉で、話し表現するにはどうしたらよいかを勉強します。マイク前、ステージ、オーディションなど、いろいろな場面を想定しての課題に取り組みます。そのための準備運動、発声も行います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

課題はすべて、実技で行います。緊張の中でも集中する力をつけること、リラックスして自身の言葉で表現を行うことを目標とします。また、限られた条件の中で、オリジナルの文章を作ること、想像力と創造力を高めていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 授業の説明と自己紹介。ストレッチや準備運動、発声
- ② 「自分の好きな○○」をテーマに1分間スピーチ
- ③ 録音した自分のスピーチをチェック、自己分析
- ④ オリジナルのCM作り
- ⑤ オリジナルCMを録音をチェック、自己分析
- ⑥ 長台詞①
- ⑦ 長台詞② テスト

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 30%、平常点（提出物、予習復習）40%、試験 30%  
内容を理解し自分の考えをしっかりと持ち、相手に伝わるように話せるかを確認します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 会話Ⅰ 舞台の脚本から1シーンを使って1対1の会話の勉強をします
- ⑨ 会話Ⅱ 実際に動きをつけて演じることで、具体的に考えていきます
- ⑩ 会話Ⅲ 今まで動きながらやっていたことを、今度はマイクの前で演じてみます。
- ⑪ 会話Ⅳ 収録します
- ⑫ 会話Ⅴ 録音を聞き、確認と分析をします
- ⑬ 漫画Ⅰ 漫画の1シーンを台本にして、声にだして読みます。
- ⑭ 漫画Ⅱ 自分が選んだシーンをクラスの中でキャスティングし、読み合わせをします。
- ⑮ 漫画Ⅲ 発表しましょう

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 30%、平常点（提出物、予習復習）40%、試験 20%  
提出物は、指定した原稿の仕様をきちんと理解し、期日内に提出できるかを確認します。

#### 特記事項

必要とあれば、遠隔授業の対応も可能です。

学科名	声優学科
科目名	声の基礎演技Ⅱ
担当講師名	小山みか
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はプランダス（株）に所属し、アニメ、外画、ナレーション、舞台、朗読、活動弁士等、声優・俳優、MCとしての実務経験を持ちます。

#### 授業内容

春学期に続き、自分の言葉で、話し表現するにはどうしたらよいかを勉強します。マイク前、ステージ、オーディションなど、いろいろな場面を想定しての課題に取り組みます。そのための準備運動、発声も行います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

緊張の中でも集中する力をつけること、リラックスして自身の言葉で表現を行うことを目標とします。また、限られた条件の中で、オリジナルの文章を作ること、想像力と創造力を高めていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 会話Ⅰ 台本の1シーンを使って複数人での会話の勉強をします
- ② 会話Ⅱ 実際に動きをつけて演じることで、会話を具体的に考えていきます
- ③ 会話Ⅲ 今まで動きながらやっていたことを、今度はマイクの前で演じてみます。
- ④ オーディション原稿Ⅰ いろいろなキャラクターを演じます。
- ⑤ オーディション原稿Ⅱ 録音して聞き、分析します。
- ⑥ 自分のヴォイスサンプル原稿Ⅰ 実際に自分で原稿をつかって、演じます。
- ⑦ 自分のヴォイスサンプル原稿Ⅱ 前回のダメだしを活かして演じます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 30%、平常点（提出物、予習復習）40%、試験 30%  
内容を理解し自分の考えをしっかりと持ち、相手に伝わるように話せるかを確認します。

#### 授業計画（8回目から15回目）



- ⑧ オリジナルストーリーを作り、クラスメイトに読んでもらいます。
- ⑨ オリジナルストーリーを作り、今度は自分が読みます。
- ⑩ ボイスドラマⅠ 声だけでシーンを伝えます。
- ⑪ ボイスドラマⅡ いろんな役に挑戦します。
- ⑫ 朗読劇Ⅰ 自分が生まれる前の時代の作品を読みます。
- ⑬ 朗読劇Ⅱ 1つの作品をじっくり読んでいきましょう。
- ⑭ 朗読劇Ⅲ どのパートが当たっても読めるように学んでいきます。
- ⑮ 学期末試験 1年間の成果を確認します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 30%、平常点（提出物、予習復習）40%、試験 30%  
提出物は、指定した原稿の仕様をきちんと理解し、期日内に提出できるかを確認します。

#### 特記事項

必要とあれば、遠隔授業の対応も可能です。

学科名	声優学科
科目名	ヴォーカル I
担当講師名	黒沢裕一
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

歌手として TV、ステージ、CM ソングやレコーディング等のスタジオワーク、又 25 年に及ぶ自身主宰のヴォーカル教室で歌唱指導の経験を持ちます。

#### 授業内容

1 クォーターでは童謡、唱歌を 6 曲、メロディー、フレーズを正しく歌唱します。  
2 クォーターでは「Top of the world」、英語詩の発音を怖がらず、リズムに乗り楽しく歌唱します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

この科目では講師の実務経験に基づき、英語詞の楽曲を通して二重母音、曖昧母音などの抑揚、またコーラスの楽しさを学びます。

#### 授業計画（1 回目から 7 回目）

- ① 年間の授業内容の説明：顔合わせの後、楽典の基礎を学びます。
- ② 正しい姿勢で発声する：男女の音域の違いを知り、各自の音域を調べます。
- ③ 唱歌、童謡、2 曲を歌唱する：「大きな古時計」「雨ふりお月さん」を歌唱します。
- ④ 童謡、唱歌、2 曲を歌唱する：「夏の思い出」「七つの子」を歌唱します。
- ⑤ 唱歌を 2 曲歌唱する：「ふるさと」「もみじ」を歌唱します。
- ⑥ クォーター末歌唱試験（1）：全 6 曲から 2 曲を選び、ソロで歌唱します。
- ⑦ クォーター末歌唱試験（2）：全 6 曲から 2 曲を選び、ソロで歌唱します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

メロディー、フレーズを正しく唄えているか、曲調を理解しているかを見ます。  
受講態度も加味します。  
クォーター末歌唱試験 60%、平常点 40%

#### 授業計画（8 回目から 15 回目）

- ⑧ 「Top of the world」を歌唱します：メロディー、発音、歌詞の意味を学びます。
- ⑨ しっかり声を出しましょう：メロディー、英語詞の発音をしっかり学びます。
- ⑩ 男女3声にパート分けします：各自のコーラスパートを覚えます。
- ⑪ しっかり声を出しましょう：メロディー、コーラスパート、発音などを確かめます。
- ⑫ 個人レッスン (1)：各自のk e yで歌唱レッスンします。
- ⑬ 個人レッスン (2)：マンツーマンで歌唱レッスンします。
- ⑭ 学期末歌唱試験 (1)：「Top of the world」をソロで歌唱します。(1)
- ⑮ 学期末歌唱試験 (2)：「Top of the world」をソロで歌唱します。(2)

#### 期末試験評価方法・評価基準

曲調を把握しているか、英語詞の発音にチャレンジしているかを見ます。  
リズムに乗り、楽しく唄えているでしょうか。  
学期末歌唱試験 50%、平常点、受講状況 50%

#### 特記事項

必要な時はリモートでの対応を予定しております。

学科名	声優学科
科目名	ヴォーカルⅡ
担当講師名	黒沢裕一
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

歌手としてTV、ステージ、CMソングやレコーディング等のスタジオワーク、又25年に及ぶ自身主宰のヴォーカル教室で歌唱指導の経験を持ちます

#### 授業内容

3クォーターでは、曲調を把握し、英語詞の発音を恐れず伸び伸びと歌唱します。  
4クォーターでは「Daydream Believer」の英語詞、日本語詞の違いを表現します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

この科目では講師の実務経験に基づき、春学期を踏まえ、更に英語詞の楽曲を通して二重母音、曖昧母音などの抑揚、またコーラスの楽しさを学びます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 「The Rose」を歌唱します：メロディー、英語詞の発音、意味を学びます。
- ② フレーズを確かめます：1，2，3コーラスで異なるフレーズを確認します。
- ③ コーラスパートを覚えます：服旋律をしっかり覚えます。
- ④ 個人レッスン（1）：メロディー、フレーズ、発音などを確かめます。
- ⑤ 個人レッスン（2）：マンツーマンで歌唱レッスンします。
- ⑥ クォーター末歌唱試験（1）：「The Rose」を各自のkeyで歌唱します。
- ⑦ クォーター末歌唱試験（2）「The Rose」をソロで歌唱します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

メロディー、フレーズを正しく唄えているか、英語詞の発音を習得する意欲があるかを見ます。  
受講態度も加味します。  
クォーター末歌唱試験 60%、平常点 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 「Daydream Believer」を歌唱します：メロディー、英語詞の発音、意味を学びます。
- ⑨ コーラスパート、フレーズを覚えます：原旋律、フレーズ、発音などを確認します。
- ⑩ 「デイドリームビリーバー」を歌唱します：日本語のメロディー、フレーズを学びます。
- ⑪ メロディー、フレーズを確かめます。：英語詞との違いを確認します。
- ⑫ 個人レッスン（1）：マンツーマンで歌唱レッスンします。
- ⑬ 個人レッスン（2）：メロディー、フレーズ、発音を復習します。
- ⑭ 学期末歌唱試験（1）：英語、日本語、両方2曲をソロで歌唱します。
- ⑮ 学期末歌唱試験（2）：同一曲を日本語詞、英語詞で歌唱します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

英語詞、日本語詞の違いを正しく表現出来ていたか、曲調を把握していたかを見ます。  
年間を通しての受講態度も加味します。  
学期末歌唱試験 50%、平常点、受講状況 50%

#### 特記事項

必要な時はリモートでの対応を予定しております。

学科名	声優学科
科目名	パントマイム I
担当講師名	栗原一
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はファミリーミュージカルや市民ミュージカルの演劇におけるパントマイム指導や、小学生から大人まで広範囲に渡るパントマイムワークショップ講師の経歴を持ちます。

#### 授業内容

基本的なパントマイムテクニックを習得します。更には基本テクニックからの応用で上級のパントマイムテクニックを習得します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

古典的なパントマイム小作品を忠実に演じる事によって演技を踏まえたパントマイム表現を習得します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 「身体能力の確認」現時点での体力を測定します。
- ② 重さのテクニック「持つ」を実演してみます。
- ③ 重さのテクニック「下ろす」を実演してみます。
- ④ 重さのテクニック「移動」を実演してみます。
- ⑤ 重さのテクニック「色々なものを持つ」を実演してみます。
- ⑥ 「成果の確認」これまで学習したテクニックを披露します。
- ⑦ 「特別授業」ジャグリングを実演してみます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席率とマイムテクニックの性格性を評価します。  
出席率：50%、テクニック：50%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 「身体能力の確認」現時点での体力を測定します。
- ⑨ 軽さのテクニック「持つ」を実演してみます。

- ⑩ 軽さのテクニック「浮く」を実演してみます。
- ⑪ 軽さのテクニック「押さえる」を実演してみます。
- ⑫ 軽さのテクニック「移動」を実演してみます。
- ⑬ 軽さのテクニック「風船」を実演してみます。
- ⑭ 「成果の確認」これまで学習したテクニックを披露します。
- ⑮ 「特別授業」ジャグリングを実演してみます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席率とマイムにおける表現方法及びマイムテクニックの性格性を評価します。

出席率：50%、テクニック：50%

#### 特記事項

必要に応じて、遠隔授業での対応もいたします。

学科名	声優学科
科目名	パントマイムⅡ
担当講師名	栗原一
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はファミリーミュージカルや市民ミュージカルの演劇におけるパントマイム指導や、小学生から大人まで広範囲に渡るパントマイムワークショップ講師の経歴を持ちます。

#### 授業内容

基本的なパントマイムテクニックを習得します。更には基本テクニックからの応用で上級のパントマイムテクニックを習得します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

古典的なパントマイム小作品を忠実に演じる事によって演技を踏まえたパントマイム表現を習得します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 「身体能力の確認」現時点での体力を測定します。
- ② 重さのテクニック「持つ」を実演してみます。
- ③ 重さのテクニック「下ろす」を実演してみます。
- ④ 重さのテクニック「移動」を実演してみます。
- ⑤ 重さのテクニック「色々なものを持つ」を実演してみます。
- ⑥ 「成果の確認」これまで学習したテクニックを披露します。
- ⑦ 「特別授業」ジャグリングを実演してみます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席率とマイムテクニックの性格性を評価します。  
出席率：50%、テクニック：50%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 「身体能力の確認」現時点での体力を測定します。
- ⑨ 軽さのテクニック「持つ」を実演してみます。



- ⑩ 軽さのテクニック「浮く」を実演してみます。
- ⑪ 軽さのテクニック「押さえる」を実演してみます。
- ⑫ 軽さのテクニック「移動」を実演してみます。
- ⑬ 軽さのテクニック「風船」を実演してみます。
- ⑭ 「成果の確認」これまで学習したテクニックを披露します。
- ⑮ 「特別授業」ジャグリングを実演してみます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席率とマイムにおける表現方法及びマイムテクニックの性格性を評価します。

出席率：50%、テクニック：50%

#### 特記事項

必要に応じて、遠隔授業での対応もいたします。

学科名	声優学科
科目名	ダンス I
担当講師名	平池美星
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はプレイヤーとして多くのステージの経験を持ちます。また振り付けや育成にも力を投入しており、大会では部活やプロデュースチームを入賞させた実績もあります。

#### 授業内容

毎回ストレッチ、筋トレ、リズムトレーニング、振り付けの流れで進めます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

基本的な動き、よく使われるステップ、正確なリズム取り、表現力を習得していきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①生徒のレベルの把握と基礎的な体の使い方を教えます。
- ②基礎的なステップや動きを、繋げた振り付けを練習します。
- ③簡単な振り付けを教えます。
- ④振り付けを続けていきます。
- ⑤中間試験の課題の振り付けを覚えます。
- ⑥課題の振り付けを進めていき、更に修正してかためていきます。
- ⑦中間試験実施。少人数にわけてパフォーマンスしてもらいます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

⑤、⑥で覚えた振り付けを実技試験で見していきます。  
出席：30% 平常点：30% 試験 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧基礎トレーニングの難易度を少し上げて、応用力をつけていきます。
- ⑨新しい振り付けを教えます。
- ⑩⑨でやった振り付けの続きを教えます。

- ⑪振り付けを繋げてかためていき、表現力もつけて踊り込みをします。
- ⑫期末試験の振り付けを教えます。
- ⑬振り付けを続けていきます。
- ⑭⑫、⑬で覚えた振り付けを固めていきます。
- ⑮覚えてきた振り付けプラス  $\alpha$  で、当日簡単な振りを覚え、パフォーマンスしてもらいます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

実技試験で表現力、踊りの正確さを見ていきます。日頃の受講態度なども含めた採点方法です。

出席：30% 平常点：30% 試験：40%

#### 特記事項

必要な場合はオンラインレッスンでの対応を予定しております。

学科名	声優学科
科目名	ダンスⅡ
担当講師名	平池美星
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はプレイヤーとして多くのステージの経験を持ちます。また振り付けや育成にも力を入れており、大会では部活やプロデュースチームを入賞させた実績もあります。

#### 授業内容

筋トレ、リズムトレーニングをレベルアップして進めます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

基本的な動き、よく使われるステップ、正確なリズム取り、。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①生徒のレベルの把握と基礎的なステップ、体重移動を教えます。
- ②基礎的なステップや動きを、繋げた振り付けを練習します。
- ③簡単な振り付けを教えます。
- ④振り付けを続けていきます。
- ⑤中間試験の課題の振り付けを覚えます。
- ⑥課題の振り付けを進めていき、更に修正してかためていきます。
- ⑦中間試験実施。少人数にわけてパフォーマンスしてもらいます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

⑤、⑥で覚えた振り付けを実技試験で見えていきます。

出席：30% 平常点：30% 試験 40%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧基礎トレーニングの難易度を少し上げて、応用力をつけていきます。
- ⑨新しい振り付けを教えます。

- ⑩⑨でやった振り付けの続きを教えます。
- ⑪振り付けを繋げてかためていき、表現力もつけて踊り込みをします。
- ⑫期末試験の振り付けを教えます。
- ⑬振り付けを続けていきます。
- ⑭⑫、⑬で覚えた振り付けを固めていきます。
- ⑮覚えてきた振り付けプラス  $\alpha$  で、当日簡単な振りを覚え、パフォーマンスしてもらいます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

実技試験で表現力、踊りの正確さを見ていきます。日頃の受講態度なども含めた採点方法です。

出席：30% 平常点：30% 試験：40%

#### 特記事項

必要な場合はオンラインレッスンでの対応を予定しております。

学科名	声優学科
科目名	インターンシップ I
担当講師名	
学期	春
授業の形態	実習
専攻/楽器/グレード等	

担当科目に関連する実務経歴

授業内容

学科が認める制作会社、劇団、プロダクション等の依頼で出演の機会を得たり、オーディションを受けたり等することで現場での実践経験を積んだり、卒業後の所属を決定したりします。

また、学校等を訪問し実演を行ったりします。

到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

プロが行う現場で収録の機会を得るため、自分の出演作品が業界に出て多くの人の目に触れることとなります。また、進路決定オーディションの場合には、自分の卒業後の目標を具体的に叶えることが出来ます。

学校等では、高校生や子供たちに自分達のパフォーマンスを披露することで、実演家としての交流や感動を実感できます。

授業計画（1回目から7回目）

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

中間試験評価方法・評価基準

得られた経験による積極性、向上心、責任感、現場対応能力等を評価、また、オーディション結果を評価します。

授業計画（8回目から15回目）

- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫
- ⑬
- ⑭
- ⑮

#### 期末試験評価方法・評価基準

得られた経験による積極性、向上心、責任感、現場対応能力等を評価、また、オーディション結果を評価します。

#### 特記事項

他学科卒業生が活躍する企業からの出演依頼もあります。  
文京区主催のコンサートなどのMC依頼等の実績もあります。

特別な状況下においては、学外活動や企業研修が実施されない場合もありますのでその点はご了承ください。

学科名	声優学科
科目名	インターンシップⅡ
担当講師名	
学期	秋
授業の形態	実習
専攻/楽器/グレード等	

担当科目に関連する実務経歴

授業内容

学科が認める制作会社、劇団、プロダクション等の依頼で出演の機会を得たり、オーディションを受けたり等することで現場での実践経験を積んだり、卒業後の所属を決定したりします。

また、学校等を訪問し実演を行ったりします。

到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

プロが行う現場で収録の機会を得るため、自分の出演作品が業界に出て多くの人の目に触れることとなります。また、進路決定オーディションの場合には、自分の卒業後の目標を具体的に叶えることが出来ます。

学校等では、高校生や子供たちに自分達のパフォーマンスを披露することで、実演家としての交流や感動を実感できます。

授業計画（1回目から7回目）

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

中間試験評価方法・評価基準

得られた経験による積極性、向上心、責任感、現場対応能力等を評価、また、オーディション結果を評価します。

授業計画（8回目から15回目）



- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫
- ⑬
- ⑭
- ⑮

#### 期末試験評価方法・評価基準

得られた経験による積極性、向上心、責任感、現場対応能力等を評価、また、オーディション結果を評価します。

#### 特記事項

他学科卒業生が活躍する企業からの出演依頼もあります。  
文京区主催のコンサートなどの MC 依頼等の実績もあります。

特別な状況下においては、学外活動や企業研修が実施されない場合もありますのでその点はご了承ください。